

BI E総会における榊原日本経済団体連合会会長スピーチ

2017年6月14日

「2025 Japan World Expo Committee」の会長の榊原でございます。
日本経済団体連合会の会長を務めております。

本日は、2025年の万博に向けた私たちのビジョンについて皆様にご説明する機会をいただき、心から感謝申し上げます。

大阪・関西万博が掲げるテーマは、「いのち輝く未来社会のデザイン (Designing Future Society for Our Lives)」です。本日は、我々がこの未来社会をどのように実現しようとしているのか、ご説明いたします。

現在、日本では、官民一体となって「Society5.0」という国家プロジェクトに取り組んでおります。

「Society5.0」とは、IoT, AI, ロボット, Big Data など、革新的技術を最大限活用することによって、人々の暮らしや社会全体が最適化された未来社会の実現とを目指すものです。

私たちが目指すこの未来社会とは、健康・医療, 食料・農業, 環境・気候変動, エネルギー・資源, 安全・防災, 人やジェンダーの平等など、グローバルな課題を解決した姿であります。

それは、まさに国連が掲げる持続可能な開発目標 (SDGs) が達成された社会です。わが国は、この世界を、すべてのSDGsが実現した未来社会に変革させるための取り組みをリードしたいと考えております。

Society5.0は、多くの可能性を秘めています。

例えば、輸送では、安全かつ高度な大量輸送を可能とする自動運転の普及、健康・医療では、ガンやエボラ出血熱治療の実現、農業では、IT技術を駆使した全く新しい農業の創出、建設では、i-constructionによる女性や高齢者の積極的参加、防災では、自然

災害の被害の大幅な軽減。

他にも非常に多くの可能性があります。

我々は、SDGs 達成のフロントランナーとなることで、わが国並びに世界の持続的成長と発展に貢献したいと考えております。2025 年大阪・関西万博は、この未来社会のビジョンを世界の皆様と共有できる素晴らしい機会であると確信しております。

それでは、未来社会へのフロントランナーを目指す大阪・関西をご紹介いたします。

ご清聴ありがとうございました。